



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ヘッドウォーターズ 上場取引所 東
コード番号 4011 URL <https://www.headwaters.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠田 庸介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原島 一隆 (TEL) 03-6258-0525
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	739	4.4	△67	—	△2	—	△20	—
2024年12月期第1四半期	708	17.3	132	115.9	131	112.8	89	122.6

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △0百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 91百万円(127.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△5.43	—
2024年12月期第1四半期	23.89	21.54

(注) 1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,686	1,273	75.1
2024年12月期	1,800	1,272	70.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 1,266百万円 2024年12月期 1,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,007	37.9	328	6.5	332	△8.4	237	△13.1	62.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	3,796,740株	2024年12月期	3,796,740株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	84株	2024年12月期	84株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	3,796,656株	2024年12月期 1 Q	3,762,720株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)における日本の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調が続きました。また、当社グループを取り巻く事業環境についても、企業のデジタル投資意欲は強く堅調に推移しました。しかし一方で、物価高騰や地政学リスク、米国の関税政策動向等により先行きは不透明な経済状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループが属するIT業界は、AI(人工知能)やDX(デジタルトランスフォーメーション)などの技術革新により、急速な技術発展を遂げております。とりわけ生成AIの登場・進化は、労働人口の減少をはじめとする社会課題だけでなく新たなビジネスモデルの創出、イノベーションの促進に大きく貢献し始めております。生成AIはさまざまな分野で利用が進み、技術革新も日進月歩で行われております。生成AIの利用は、LLM(大規模言語モデル)やRAG(検索拡張生成)の進化を経てAIエージェントへと発展しており、AIの利用は今後さらに拡大が見込まれております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度から引き続き生成AIに対する需要は好調でAIインテグレーションサービスの売上が続伸しております。また、この生成AIニーズの波をしっかりと捉え、売上ボリュームの拡大を図るべく当第1四半期連結累計期間では、イベント出展やパートナーの増員および品質向上施策、研究開発などの積極投資を実施いたしました。

また、当第1四半期連結累計期間においては、デリバティブ評価益による営業外収益が発生しております。このデリバティブ取引については、前連結会計年度において資本業務提携に伴う株式取得の一環として行われたものであり、投機的取引に該当するものではありません。

当社グループは、AIソリューション事業を以下の3つのサービス区分に分けて事業を推進しております。

- ・AIインテグレーションサービス：生成AI、Copilot、エッジAIなどのコンサルティング・開発案件
- ・DXサービス：プラットフォーム開発、DXコンサルティング、Azureクラウド開発、ローコード開発など
- ・プロダクトサービス：自社サービス、クラウド利用料などの代理店販売モデル

AIインテグレーションサービス

当社グループでは、IoTを活用したエッジAI案件に加えて、前連結会計年度から生成AIに対するGPTサービスラインナップを拡充して、生成AI案件の推進に注力しております。その中でも顧客サービスや業務利用に生成AIを活用し、AIによる自動判別・自動実行を伴ったAIエージェント案件が主流となっております。顧客が保持する大量の業務データを生成AIに利用するだけでなく、回答精度、応答スピードなど業務利用に耐えうる品質やコンプライアンスに則ったアプリ作成、新しい技術のキャッチアップを行い顧客サービスに反映するスピード感など、総合力を必要とする案件に数多く携わってまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、生成AIおよびAIエージェント案件の新規受注が進むとともに、エッジAI案件の売上拡大によって、AIインテグレーションサービス売上高は435,920千円(前年同期比15.2%増)となりました。

DXサービス

当社グループのDXサービス案件は、Microsoft Azureを中心としたクラウドサービスのプラットフォーム開発や企業のDX化に向けたコンサルティング、効率化を目的としたローコード開発となっており、主にモダナイゼーションと呼ばれる古いシステムを先進的な技術・手法に更新・改善する案件や、Microsoft Power Platformに代表されるローコードツールを活用した内製化支援を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き顧客深耕に努めておりますが、生成AIの活用がDX案件にも広がったことに伴い、一部売上の計上区分がDXサービスからAIインテグレーションサービスへ移行したことから、DXサービス売上高は273,740千円(前年同期比5.8%減)となりました。

プロダクトサービス

プロダクトサービスは、自社サービス「SyncLect」シリーズによるライセンス型モデルと、クラウド利用サービス料やIoT機器の仕入れ販売による代理店型モデルの2つに大きく分けられます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、AIエージェントサービスである「SyncLect AI Agent」のサービス開発、ならびに生成AIサービスである「SyncLect Generative AI」の保守プランを拡充し、既存顧客に対するサービス品質の向上を実施しております。生成AIの利用ニーズは強くAIインテグレーションサービスの売上は伸長しているものの、主要顧客となるエンタープライズ系企業においてはカスタマイズ開発要求が強くプロダクトサービス売上高は29,548千円（前年同期比25.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は739,209千円（前年同期比4.4%増）、営業損失は67,619千円（前年同期は営業利益132,306千円）、経常損失は2,865千円（前年同期は経常利益131,605千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は20,619千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益89,896千円）となりました。

当社グループでは、AIを活用し更なる顧客サービスの実現を目指すAIソリューション事業の単一セグメントで推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,686,721千円となり、前連結会計年度末と比較して113,667千円の減少となりました。

流動資産は1,267,847千円となり、前連結会計年度末と比較して191,964千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が60,222千円、売掛金及び契約資産が120,037千円、前払費用が9,472千円減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比較して78,297千円増加し、418,873千円となりました。主な要因は、有形固定資産が1,722千円、投資その他の資産が77,312千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は413,532千円となり、前連結会計年度末と比較して114,260千円の減少となりました。これは主に、買掛金が20,559千円増加したものの、未払消費税等が46,635千円、未払法人税等が89,969千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,273,188千円となり、前連結会計年度末と比較して592千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が19,364千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が20,639千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	843,233	783,011
売掛金及び契約資産	562,870	442,832
仕掛品	3,955	1,802
前払費用	48,888	39,415
その他	863	785
流動資産合計	1,459,812	1,267,847
固定資産		
有形固定資産	40,018	41,741
無形固定資産	10,048	9,310
投資その他の資産		
デリバティブ債権	161,827	224,226
その他	128,681	143,595
投資その他の資産合計	290,508	367,821
固定資産合計	340,576	418,873
資産合計	1,800,388	1,686,721
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,122	184,682
未払金	24,099	42,517
未払費用	117,108	107,305
未払消費税等	78,968	32,332
未払法人税等	99,472	9,502
契約負債	8,609	1,419
預り金	32,585	32,725
受注損失引当金	2,826	—
流動負債合計	527,793	410,486
固定負債		
繰延税金負債	—	3,046
固定負債合計	—	3,046
負債合計	527,793	413,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,338	378,338
資本剰余金	368,338	368,338
利益剰余金	503,632	484,267
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,250,081	1,230,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,966	36,606
為替換算調整勘定	1,012	△404
その他の包括利益累計額合計	16,979	36,201
非支配株主持分	5,534	6,270
純資産合計	1,272,595	1,273,188
負債純資産合計	1,800,388	1,686,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	708,367	739,209
売上原価	377,789	441,261
売上総利益	330,578	297,948
販売費及び一般管理費	198,271	365,568
営業利益又は営業損失(△)	132,306	△67,619
営業外収益		
受取利息	4	422
為替差益	—	1,150
デリバティブ評価益	—	62,399
その他	1	782
営業外収益合計	5	64,754
営業外費用		
為替差損	669	—
その他	36	—
営業外費用合計	706	—
経常利益又は経常損失(△)	131,605	△2,865
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	131,605	△2,865
法人税、住民税及び事業税	40,199	7,324
法人税等調整額	686	8,676
法人税等合計	40,885	16,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,719	△18,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	823	1,753
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	89,896	△20,619

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,719	△18,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	20,639
為替換算調整勘定	1,000	△1,889
その他の包括利益合計	1,000	18,749
四半期包括利益	91,720	△116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,647	△1,397
非支配株主に係る四半期包括利益	1,073	1,280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	3,516千円	5,262千円